

令和6年度 ハッピーハート保育新潟西 自己評価総括表

保護者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 保護者対象者数:26 回答:25

従業者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 従業者対象者数:8 回答:8

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一日を通して異年齢同士の小集団で過ごす事で、生活面やコミュニケーション面、集団行動における社会性等、総合的に支援を行っている。全職員が、それぞれの発達段階や特性に応じた質の高い細やかな支援を目指している。	実年齢ではなく発達年齢を重視して、〇才だから~が出来るではなく、〇が出来るようになったから次は~が出来るようにと、スモールステップで支援を行っている。職員間で情報共有を行い、一貫した支援が出来るように意識している。必要に応じて言語聴覚士による専門的支援を実施している。	職員一人ひとりが、意見を出し合って有効な手立てを見つけ、都度問題解決を図りながら、利用児それぞれの個別の支援に力を入れて発達を促していく。
2	家族支援として3ヶ月ごとに参観と面談の機会を設け、実際にお子さんの様子を見て頂きながら、成長を共有したりご家族と一緒に課題や目標を考え、家庭との連携を図っている。また、園や自宅への送迎サービスを行うことで、家庭の負担軽減に繋がっている。	参観の際はご家族の姿に気付いてしまうといつもの様子と変わってしまう為、ありのままの状態を観て頂くことでプラスの面もマイナスの面も共有する事ができている。普段園送迎でお会い出来ないご家庭も、様子が目に浮かぶように連絡帳に具体的に記入するようにしている。可能な時はご家庭に送迎のご協力を頂き、直接お話出来る機会を意識的に作るようにしている。	ご家族からの悩みや相談があった場合には、全職員が適切な助言が出来るように支援の経験を重ね、職員一人ひとりのスキルアップを目指していく。また、ご家庭の状況や環境等を考慮しながら、負担にならない程度に生活の中で取り入れられそうな支援を共有し、生活の質が向上するように伝えていく。
3	地域支援として定期的に園訪問を実施したり、関係機関と情報共有を行いながら連携を図っている。また、集団の中での様子を見ながら園と療育のバランスを考え、移行支援を行っている。	顔が見える関係作りを意識しながら、連携を心がけている。必要に応じて些細な事でも報告・連絡・相談を行うことで信頼関係を築き、ご家族やご本人にとってより良い支援が行えるように努めている。当施設だけでなく園でも適用出来るようになる為には有効な手立てを共有し、現実的に集団の中で可能な事をお伝えしている。	園の先生方にも見学に来て頂けるように積極的に声をかけ、それぞれの場所での姿を共有し、共通理解を図っていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	地域交流が難しい。	近所を散歩したり、近くの公園には行くが、日中は地域の子どものも遊んでいない事が多く、なかなか交流出来ない。多園との交流は在園している子が多く、日頃から交流出来ている為、考えていない。	安全に出かけられる状態で、計画的に大きい公園や公共の施設に出かける機会を作っていきたい。